

妊よう性に関する相談窓口

がん治療（抗がん剤治療・放射線治療）は、性別に関係なく、妊娠するための力（妊よう性）に影響を与え、子どもを授かる力が弱まったりまたは失われたりすることがあります。そのため、思いがけず、人生設計の変更を余儀なくされた方もいるのかもしれませんが。

ひとりで抱えるにはちょっとしんどい……。そんな気持ちをここでお話してみませんか。

相談
無料
(秘密厳守)

◇対象：がん患者本人、ご家族、パートナー

◇時間：事前予約制

◇場所：男女共同参画センターソーレ2階

高知県高知市旭町3丁目116番地

〈相談内容の一例〉

- ・不安なこと
- ・周りからの期待や重圧に耐えられないこと
- ・子どもを諦めきれない思い
- ・子どものいない人生をどのように歩むのか
- ・孫を望めない父や母の思い など

私がお話をうかがいます

不妊治療を経て、胚培養士、そしてがんサバイバーとなった不妊ピア・カウンセラーが、お気持ちに伴走するよう心がけてお話をうかがっています



認定不妊ピア・カウンセラー
西 博子

※妊よう性温存治療に関する情報提供やアドバイスは行いません

がん相談センターこうち

予約先 TEL：088-854-8762

【受付時間】9：00～17：00
(第1・3土曜日・日曜・祝日・年末年始除く)

